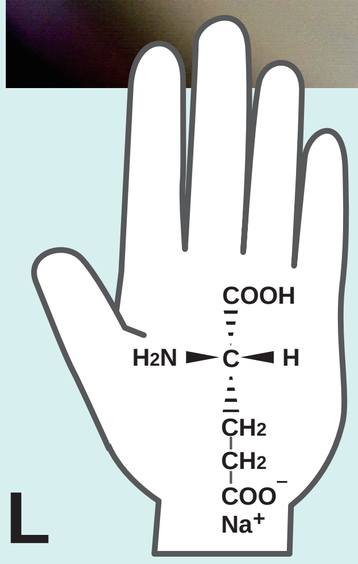
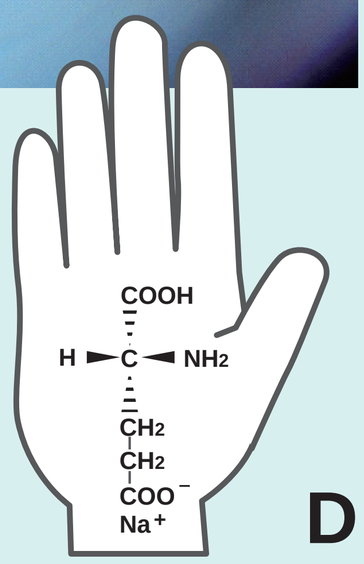
サイエンス・カフェ31@自然科学研究教育センター



自然における左と右
―左水晶と右水晶―



右手と左手は，形は同じですが互いに鏡でうつした関係にあります．物質の世界でも，左と右の区別があります．その1つの例が水晶です．結晶の六角柱の方向の原子配列が左らせんのものと右らせんのものがあり，それがそれぞれ右旋性と左旋性の水晶です．分子の左と右は，ヒトの味覚や薬の作用にも影響します．天然に存在するアミノ酸や糖は，一方の型に偏っていますが，その理由はまだわかっていません．不思議ですね．

2016年 7月23日(土) 15:00～16:30

日吉キャンパス 来往舎１階 シンポジウムスペース (日吉駅 徒歩３分)

大場 茂 (慶應義塾大学文学部 化学教室 教授)

対象：一般の方（小学生高学年以上）

参加費無料 / 定員50名 申込必要（下記URLからお申込み下さい．）

キラリビュアー（簡易偏光器）を使った水晶球のエアリースパイラルの観察 や (+)-と(-)-リモネンの香りの比較などの実習あり．

慶應義塾大学 自然科学研究教育センター

Tel：045-566-1111　メール：office@sci.keio.ac.jp　URL：http://www.sci.keio.ac.jp/

＊天災・交通事情など予期せぬ事態により変更・中止となる場合があります．その場合，上記 URL でお知らせしますので，事前にご確認下さい．